

項目	内容
名称	ドイツスズラン [英]Lily-of-the-valley [学名]Convallaria majalis L.
概要	ドイツスズランは、ヨーロッパ原産のユリ科の多年生草本で、園芸植物として広く栽培されている。草丈は15～25 cmに生長する。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スズラン 全草：「専ら医薬品として使用される成分本質（原材料）」に該当する。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<ul style="list-style-type: none"> ・全草にコンバラトキシシン、コンバラトキソール、コンバロサイド、コンバラリン、コンバラマリン、ロデアサポゲニン、イソロデアサポゲニン、コンバラサポニン、グルココンバラサポニン、セリドニン酸を含む (29)。
分析法	<ul style="list-style-type: none"> ・根から抽出したサポニンをHPLC-MS法にて分析した報告がある (PMID:17391684)。
有効性	
ヒト循環器・呼吸器で	調べた文献の中に見当たらない。

の 評 価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (33) 世界薬用植物百科事典 誠文堂新光社 A.シェヴァリエ (34) 有用植物和・英・学名便覧 北海道大学図書刊行会 由田宏一 (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS) (PMID:17391684) J Chromatogr A. 2007 May 4;1148(2):177-83. (PMID:18952245) Phytochemistry. 2008 Nov;69(16):2793-8. (PMID:22371443) Circulation. 2012 Feb 28;125(8):1053-5.	